

座禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診察日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00、
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
168号 2018.3.1.
 毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介

ストロンチウム90測定装置

LB4200が届きました



図 α線/β線測定装置LB4200

松井 英介

人類史上最悪の原発大惨事から7年。事故現場には、溶けたウランがそのまま残っています。自然環境に放出された大量の人工核物質による自然環境の汚染はつづいています。

2017年1月東電は、事故原発から20km圏内水域に生息するクロダイのストロンチウムを初めて測定しました。7月に公表された結果は、セシウム137と134の合計50Bq/kgに対しストロンチウム90は30Bq/kgでした¹⁾。

原発の燃料ウラン235が分裂すると、ストロンチウム90 とセシウム137が1体1の割合で生成されます。事故後の環境中に同程度あっても不思議ではありません。ところが東電と国は、ストロンチウム90はセシウム137の100分の1だとか1000分の1だと報道してきました。今回のクロダイの測定結果は、ストロンチウム90を過小評価してきた国や東電の言い分を覆すものです。

ストロンチウム90は体内に取り込まれると、カルシウムとよく似た動きをするので、骨や歯に蓄積し何十年も排出されません。その間、β線という放射線を出しつづけます。

乳歯は、お母さんのお腹で胎児が5~6週間経ったころからできはじめ、生まれて6~8ヶ月経つと生えてきます。ストロンチウム90の半減期は約29年なので、乳歯を保存しておけば、その中にあるストロンチウム90をいつでも測定することができます。お子さんの抜けた乳歯を捨てないで、記録カードと一緒に保存しておきましょう。

造血組織・骨髄への影響が一番深刻です。内部被曝です。

内部被曝の調査とくにストロンチウム90の測定は、日本政府が責任をもってやるべきことですが、やりませんので、私たちがまず測定し、政府に提言することにしました。

2017年2月に非営利未来型「株式会社はは」を設立し、出資を呼びかけたところ、短期間に全国各地から2000万円余りが寄せられ、測定装置を注文することができました。

今後安定した測定活動を実現するために、当面さらに3000万円が必要です。ひきつづきお力添えをお願い申し上げます。

1950年から現在まで乳歯の測定をつづけてきたスイス・バーゼル州立研究所は、日本の子どもたちの乳歯を測定し、私たちの研修も快く受け入れてくださいました。今までの活動については、つぎのサイトをご覧ください。<http://www.hahainc.jp/>

参考資料：

11) 魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20 km圏内海域> (2017年7月13日) 東京電力ホールディングス